



日本質的心理学会第4回大会のご案内 (第2号通信)

既にご案内いたしましたように、日本質的心理学会第4回大会は初秋の奈良で開催いたします。

 <p>奈良でシカ できない出会いを あなたと!</p>	日程	2007年9月29日(土)・30日(日)
	会場	奈良女子大学 (近鉄奈良駅より徒歩7分)
	テーマ	歴史性・時間性との出会い in NARA

本日は、全体企画をご案内し、参加・発表のお申し込み方法についてお知らせいたします。ご案内が遅くなり、みなさまにはご迷惑をかけますこと、お詫び申し上げます。

各種お申し込みは大会ホームページ (<http://www.nara-wu.ac.jp/bungaku/nara07jaqp>) から、お願いいたします。また、参加費等各種費用の納入につきましては、振込用紙を同封いたしましたのでご利用ください。Webからの参加申し込みフォームと参加費用の両方をお届けくださることで、参加申し込みが成立いたします。

今回は、締切の1週間前までに学会入会手続きをおとりくださいますと、会員としてのご参加が可能となっています。また、非会員の大会予約参加申し込みが可能です。

プログラム日時等詳細につきましては、順次ホームページにてご案内いたします。みなさまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

2007年6月5日

第4回大会実行委員一同：麻生 武(委員長)・本山方子(事務局)
浜田寿美男・森岡正芳・栗岡幹英・安藤香織・東村知子

大会企画 (敬称略)

1. 記念講演 (第1日夕方を予定)

感性の中のとき、ところ、ことば

講演者：川田順造(神奈川大学日本常民文化研究所 客員研究員)

司会：麻生 武(奈良女子大学)

2. 大会シンポジウム (第2日午後を予定)

聞くことの時間 生きた時間の記述

企画：森岡正芳(神戸大学)

登壇者：江口重幸(東京武蔵野病院)・立岩真也(立命館大学)・辻本昌弘(東北大学)

3. 企画シンポジウム(大会実行委員会・研究交流委員会)日程未定

子どもにおける生活の歴史(life history)と文化間移動 <公開シンポジウム>

(共催：奈良女子大学文学部子ども学プロジェクト)

企画：浜田寿美男(奈良女子大学)

登壇者：山本登志哉(共愛学園前橋国際大学)・高木光太郎(東京学芸大学)・

當眞千賀子(茨城大学)

医療事件の後に被害者家族に流れる時間

企画：栗岡幹英(奈良女子大学)

登壇者：杉野文栄(『「割り箸が脳に刺さったわが子」と「大病院の態度」』著者)



まちづくりの時間と歴史 “復=RE” から考える

企画：東村知子（奈良女子大学）

登壇者：渥美公秀（大阪大学）・茂呂雄二（筑波大学）・寺岡伸悟（奈良女子大学）

過去の出来事を“語り継ぐ”ということ

企画：日本質的心理学会研究交流委員会

司会：菅野幸恵（青山学院女子短期大学）

話題提供：実川悠太（NPO 法人水俣フォーラム）・北上田源（沖縄平和ネットワーク）

指定討論：やまだようこ（京都大学）・伊藤哲司（茨城大学）

4. 自主シンポジウム

自主シンポジウムの企画申し込みは既に締め切りました。秀逸なご企画をお寄せくださりありがとうございました。間もなくお返事申し上げます。

5. ゼミナール（第1日午前を予定）

参加を希望される場合は、4つの企画から1つを選び事前にお申し込みください。会場の都合で定員を設定しています。大会参加費に加え、受講料を承ります。（Dの寺社参観料(当日)は別途）

受講資格：予約参加申込み者として期日までに所定の費用を納入済みであれば、会員・非会員を問いません。ただし、定員を超える申し込みがあった場合は、会員を優先します。

(1) 質的研究法講習会

A. 「供述分析」の手法（定員：約100名）

講師：浜田寿美男（奈良女子大学）

日本の刑事裁判における供述分析は、多くの場合、供述調書という文書のかたちでまとめられたものをテキストにして、それを分析対象にせざるをえないという制約下にあります。しかしその制約を前提にしたうえで、分析を徹底すれば、そこにけっこう面白い世界が広がっていることに気づきます。それにまた現実の事件で、この供述分析の手法を用いた心理学鑑定が求められることが少なくありません。おそらくは今後裁判員制度が実施されるなかで、その需要はさらに高まるものと思います。今回は、電車内痴漢事件の被害者調書を読み解くことで、その面白さの一端を知っていただければと思います。もっともこの「面白さ」は単純ではありません。面白くて、やがて哀しき、というところでしょうか。

B. 会話分析からライフストーリー研究へ（定員：約100名）

講師：山田富秋（松山大学）

この講習会では、いまでは質的分析の一手法として確立した感がある「会話分析（Conversation Analysis）」について、まったくの初心者にもわかるように、会話分析の基本的な考え方を紹介したいと思います。すなわち、発話順番取得システムからスタートして、隣接対の概念を紹介し、物語の組織化まで解説します。その後、会話分析とフィールドワークを組み合わせた制度的状況の会話分析について、具体的な研究を通して概説します。

講習会の後半では、アクティヴ・インタビューの概念に基づきながら、会話の方法に焦点を置いた会話分析と、会話において語られる内容、つまり物語(ナラティブ)に焦点を置いたライフストーリー研究を、どのようにしたら架橋できるのかについて探求しようと考えています。

参考文献：好井裕明・西阪仰・山田富秋編『会話分析への招待』世界思想社

J.ホルスタイン・J.グブリアム共著『アクティヴ・インタビュー』せりか書房

C. 子どもの観察と日誌的観察（定員：約80名）

講師：麻生 武（奈良女子大学）

私はこれまでに3つの形で観察を行ってきました。一つ目は、息子の日誌的観察です。二つ目は、ブレイルームの中でのやりとりの記録です。三つ目は、幼稚園園長として遭遇した園児達の観察記録です。いずれも肉眼による参与観察によって記録したものです。ダーウィンは、観察にはそれをリードする理



論が必要だと語っています。しかし、私の観察には、具体的な理論が先行して在るわけではありません。後に観察文を読み返し、分析することで、何かを発見しあわよくば理論を作り出せることを意図した観察です。それは発見のための観察です。ダーウィンもビーグル号にのってガラパゴス諸島の観察を行っていたときには自然淘汰という大きな理論はまだ持ち得ていなかったことは間違いありません。後から発見するために観察する。しかもそれを参与観察で行う。そのようなことは果たして可能なのでしょうか。私は、観察文はナラティブだととらえています。観察とは、世界、私の前に私に先立ってあり私の前に開かれてくる世界を、他者に追体験可能な世界として描くことです。そこでは、「私」と「他者」とが、共有し合える「共同化された世界」を「構築」することが目指されているわけです。ナラティブを共有し合うために、独特の「観察ナラティブ」という語り方があるのではないのでしょうか。まだ答えはありません。参与観察を行っている方、また参与観察法によって研究しようとされている方などのお集まり頂き、観察とは何か、学問の根幹について一緒に考えることができると願っています。

(2) フィールド講習

D. 奈良でナラティブ・プラクティス (定員: 約40名)

講師: 武藤康弘(奈良女子大学)・企画者(引率): 森岡正芳(神戸大学)

会場の奈良女子大学近辺はそのまま神話の古代です。いうまでもないことですが、フィールド研究、現場心理学を志す私たちはまずは自分の体で、現場の空気を感じ取り、その体験が自分の言葉として定着するまでくり返しその場に足を運ぶことが求められます。空間の実践は同時に人と人、人と環境をつなぐ営みです。奈良という場所は奥深い。多様な時間が交叉し沈潜しています。奈良の祭儀に詳しい鋭い文化人類学・民俗学者武藤康弘氏にエスコート願ひ、この土地との語り合いを深めたいと思います。

6. 個人研究発表 (第2日午前を予定)

ポスター形式での個人研究発表を実施します。研究成果の発表以外に、模索中の研究をめぐる交流の場、異分野の方との対話の場としてご活用ください。掲示や表現の新しい試みも歓迎します。

発表資格: 日本質的心理学会の会員

【注意】 申し込み時にすでに今年度学会費を納入していること。(6月25日(月)までに入会手続きを終えていること)

連名発表の場合は代表者が会員であること。

連名者が非会員の場合、別途発表連名費を申し受けます。

なお、学会会則第3条目的及び第8条倫理に照らし不適切と判断される発表はお断りすることがあります。

参加・発表のお申し込み方法

各種費用の振込先はいずれも次の口座です。振込用紙の通信欄に費用内訳をご記入ください。振込票は当座の領収書といたしますので、大会まで保管してください。

不参加の場合を含め、事由によらず納入後の返金はいりませんのでご了承ください。

口座番号 00980-5-280331
加入者名 日本質的心理学会第4回大会実行委員会

1. 個人研究発表申し込み

応募締切: 7月2日(月)

各種費用納入締切(予約参加費・発表費・連名費等): 7月31日(火)

発表費: ¥2,000(発表1件あたり。参加費に加えての費用です。)

発表連名費(非会員のみ): ¥1,000(連名者一人あたり。発表費に加えての費用です。連名者が大会に参加される場合は、別途、参加費が必要です。)

応募方法:

- 1) 必要項目をご記入の上、応募専用のメールアドレス(E-mail: abstract-4@cc.nara-wu.ac.jp)までお送りください。(7月2日(月) 締切)



- 【必要項目】 発表者氏名(連名者は会員・非会員の別を記入) 所属
連絡先住所・電話番号・E-mail アドレス
発表タイトル
600字以内の要旨(大会プログラムに掲載します。大会論文集はありません)
- 2) 予約参加費、発表費、連名費をお振り込みください。(7月31日(火) 締切)
- 3) 大会ホームページより、参加フォームにご記入の上、送信してください。(7月2日(月) 締切)

2. ゼミナール申し込み

- 応募締切: 7月2日(月)
- 費用納入締切(予約参加費・受講料): 7月31日(火)
- 方 法: 1) 大会ホームページより参加申し込みフォームにご記入の上、送信してください(7月2日(月) 締切)。6月25日(月)までに入会手続きを終えた方は会員扱いになります。
2) 予約参加費と受講料(¥2,000)をお振り込みください。(7月31日(火) 締切)

3. 自主シンポジウム企画申し込み

- 応募締切: 既に締め切りました。
- 採択通知が届きましたら、7月31日(火)までに予約参加費及び企画料(¥3,000)をお振り込みください。プログラム用原稿は、8月2日(木)までにご提出いただきます。

4. 大会予約参加申し込み及び参加費納入(会員・非会員とも)

- 締 切: 8月27日(月)
- 方 法: 1) 大会ホームページより、参加申し込みフォームにご記入の上、送信してください。
2) 予約参加費等をお振り込みください。
3) 8月20日(月)までに学会入会手続きを終えた方は会員としてご参加いただけます。

- 各種費用(個人研究発表費、ゼミナール受講料、発表者予約参加費、自主シンポ企画料)の納入
締 切: 7月31日(火)
- 個人研究発表費 2,000円(大会参加費は別途、発表連名費1名につき1,000円)
- ゼミナール受講料 2,000円(大会参加費は別途)
- 自主シンポジウム企画料 3,000円

大会予約参加申し込みおよび参加費納入(予約参加をお勧めします)

- 締 切: 8月27日(月)
- 大会予約参加費(会員) 一般 4,000円 学生 2,000円
(非会員) 一般 7,000円 学生 3,000円
- 懇親会予約参加費(会員) 一般 4,000円 学生 3,000円
(非会員) 一般 4,000円 学生 4,000円

当日参加の場合

- 大会参加費(会員) 一般 6,000円 学生 3,000円 / (非会員) 一般 9,000円 学生 4,000円
懇親会参加費(会員) 一般 5,000円 学生 4,000円 / (非会員) 一般 5,000円 学生 4,000円

問い合わせ先・ご案内

- 日本質的心理学会第4回大会実行委員会事務局(メールでのお問い合わせが確実です)
(E-mail) nara07jaqp@cc.nara-wu.ac.jp (電話・Fax) 0742 - 20 - 3957
(住所) 〒630-8506 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学文学部人間関係行動学講座気付
第4回大会ホームページ <http://www.nara-wu.ac.jp/bungaku/nara07jaqp>
日本質的心理学会ホームページ <http://quality.kinjo-u.ac.jp/>(入会申し込みはこちら)